



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月13日

上場会社名 勤次郎株式会社 上場取引所 東
コード番号 4013 URL <https://www.kinjiro-e.com>
代表者(役職名) 代表取締役社長COO (氏名) 加村 光造
問合せ先責任者(役職名) CFO兼管理本部長 (氏名) 前畑 岳史 (TEL) 052-485-9300
四半期報告書提出予定日 2024年5月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	998	3.3	126	△11.8	125	△12.1	83	△9.2
2023年12月期第1四半期	966	19.6	142	30.2	142	30.1	91	21.5

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 86百万円(△0.9%) 2023年12月期第1四半期 87百万円(13.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	8.54	—
2023年12月期第1四半期	9.45	—

(注) 2023年12月期第1四半期及び2024年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	12,393	8,920	72.0
2023年12月期	12,787	8,995	70.4

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 8,920百万円 2023年12月期 8,995百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	17.00	17.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	8.50	8.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、2024年7月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行う予定であるため、2024年12月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合の2024年12月期予想の1株当たり期末配当金は17円であります。

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,029	3.0	188	△37.0	188	△36.4	120	△36.6	12.53
通期	4,300	9.6	573	0.3	571	1.4	374	1.3	19.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2024年12月期の通期連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式分割の影響を考慮しております。なお、株式分割の影響を考慮しない場合の2024年12月期の通期連結業績予想における1株当たり当期純利益は38円40銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期1Q	10,420,000株	2023年12月期	10,420,000株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	656,805株	2023年12月期	662,205株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年12月期1Q	9,759,790株	2023年12月期1Q	9,719,639株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間においては、当社グループの主力製品「Universal勤次郎〈就業・勤怠管理〉」の売上が、「勤次郎 Enterprise」の次世代製品として、旧製品からの代替も含めて計画通りに推移しており、通期目標達成に向けて順調なスタートとなっております。「Universal 勤次郎〈就業・勤怠管理〉」は、「Universal 勤次郎〈健康経営〉」と併せて、従業員が心身ともに健康な状態で働ける職場環境と良好なワークライフバランスを実現し、「労働生産性」の向上と「人的資本」への投資をサポートする「HRMオールインワンソリューション」として、お客様から高い評価を受けております。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

クラウド事業の販売は、市場ニーズが一段と高まっていることから、リカーリングレベニューであるクラウドライセンス売上は515,575千円（前年同期比12.1%増）を計上しており、引き続き安定した収益確保に貢献した結果、事業全体としては652,145千円（前年同期比8.9%増）となりました。

また、オンプレミス事業の販売については、クラウド契約への切替えがあったこと等により、事業全体としては298,001千円（前年同期比6.8%減）となりますが、うちリカーリングレベニューであるプレミアムサポート売上は144,072千円（前年同期比1.5%増）を計上しており、安定した収益確保に貢献しております。

これらの結果、HRM事業の売上高は950,146千円（前年同期比3.5%増）、セグメント利益は93,334千円（前年同期比23.7%減）となりました。

また、不動産賃貸事業については、テナントからの賃料収入等により、売上高は78,772千円（前年同期比14.8%増）、セグメント利益は32,808千円（前年同期比58.5%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は998,302千円（前年同期比3.3%増）、営業利益は126,142千円（前年同期比11.8%減）、経常利益は125,078千円（前年同期比12.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は83,348千円（前年同期比9.2%減）となりました。

当社のマーケットについては、2024年4月に「働き方改革関連法」の時間外上限規制が全事業に適用され、労災認定基準に勤務間インターバルが追加されるなど過重労働に対する指導強化が進み、長時間労働者への健康指導についてより一層きめ細かな労務管理がお客様に求められる環境となっております。

また、デフレ脱却に向かう状況において、安定的な経済成長を目指すために企業の投資を引き出し、賃上げにつながるという経済界の動きの中で、「人的資本投資」の重要性が注目されております。2023年3月期決算からは、有価証券報告書に人材投資額や社員満足度などの「人的資本」に関する記載が義務付けられるなど、企業の市場価値は、有形資産から無形資産へとその構成要素が変化しております。

こうした事業環境の変化への対応と企業価値向上のために、企業においては、人的資本の7分野といわれる「人材育成」「多様性」「健康・安全」「労働慣行」「従業員エンゲイジメント」「流動性」「コンプライアンス」への投資を行うことが求められ、経営戦略に沿ったHRM（ヒューマン・リソース・マネジメント）による人材の確保・育成、組織の再編に必要な、就業・健康管理情報の有効活用に伴随する様々なHRMサービスへのニーズが増加しております。

このようなマーケットにおいて、「働く人の健康と幸せが企業の未来を築く」をコンセプトとする当社の「Universal 勤次郎」は、「働き方改革&健康経営[®]」を推進することで、社員の健康増進及び「ワーク・エンゲイジメント」向上による組織の活性化と労働生産性の向上をもたらし、人的資本の拡充によって企業の持続的発展に繋がるシステムとして、一層注目されております。

（注）健康経営[®]はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

セグメント別、事業区分別の売上高は、下表のとおりです。

セグメントの名称	事業区分	金額（千円）	前年同期比（％）
HRM事業	クラウド事業	652,145	108.9
	オンプレミス事業	298,001	93.2
	小計	950,146	103.5
不動産賃貸事業	—	78,772	114.8
セグメント間の内部売上高	—	△30,616	151.4
合計		998,302	103.3

また、リカーリングレベニューの内訳は、下表のとおりです。

	売上区分	金額（千円）	割合（％）
リカーリングレベニュー	クラウドライセンス売上	515,575	54.3
	プレミアムサポート売上	144,072	15.2
	その他売上	5,976	0.6
合計		665,624	70.1

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ393,452千円減少し、12,393,779千円となりました。

そのうち、流動資産は前連結会計年度末に比べ368,969千円減少し、4,964,693千円となりました。これは主に、現金及び預金386,612千円の減少があったこと等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ24,482千円減少し、7,429,085千円となりました。これは主に、ソフトウェア仮勘定162,885千円の増加があったほか、建物及び構築物（純額）46,592千円の減少、その他の有形固定資産（純額）28,382千円の減少、ソフトウェア117,844千円の減少があったこと等によるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ318,139千円減少し、3,473,260千円となりました。

そのうち、流動負債は前連結会計年度末に比べ249,633千円減少し、1,005,177千円となりました。これは主に、賞与引当金83,394千円の増加があったほか、未払法人税等93,179千円の減少、その他の流動負債224,249千円の減少があったこと等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ68,506千円減少し、2,468,082千円となりました。これは主に、長期借入金67,398千円の減少があったこと等によるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ75,312千円減少し、8,920,519千円となりました。これは主に、四半期純利益83,348千円の計上、自己株式6,898千円の減少があったほか、剰余金の配当168,573千円があったこと等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の業績予想につきましては、2024年2月9日の決算短信で公表いたしました、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,469,211	4,082,599
受取手形及び売掛金	701,472	689,913
棚卸資産	66,829	64,279
その他	97,118	128,555
貸倒引当金	△967	△653
流動資産合計	5,333,663	4,964,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,117,366	3,070,774
土地	2,384,084	2,384,084
その他(純額)	440,985	412,603
有形固定資産合計	5,942,436	5,867,462
無形固定資産		
ソフトウェア	990,928	873,083
ソフトウェア仮勘定	79,192	242,077
その他	9,619	9,506
無形固定資産合計	1,079,739	1,124,668
投資その他の資産		
投資有価証券	47,892	57,829
その他	384,720	380,365
貸倒引当金	△1,220	△1,239
投資その他の資産合計	431,392	436,955
固定資産合計	7,453,568	7,429,085
資産合計	12,787,232	12,393,779
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	48,756	40,602
1年内返済予定の長期借入金	269,592	269,592
未払法人税等	151,200	58,020
賞与引当金	4,823	88,218
前受収益	240,209	232,765
その他	540,228	315,979
流動負債合計	1,254,810	1,005,177
固定負債		
長期借入金	2,215,389	2,147,991
退職給付に係る負債	138,193	143,136
資産除去債務	47,809	45,972
その他	135,197	130,982
固定負債合計	2,536,589	2,468,082
負債合計	3,791,400	3,473,260
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,099,300	4,099,300
資本剰余金	4,056,450	4,056,450
利益剰余金	2,018,322	1,933,098
自己株式	△1,175,900	△1,169,001
株主資本合計	8,998,172	8,919,846
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20,135	△13,242
為替換算調整勘定	17,795	13,915
その他の包括利益累計額合計	△2,340	672
純資産合計	8,995,832	8,920,519
負債純資産合計	12,787,232	12,393,779

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	966,811	998,302
売上原価	325,579	418,596
売上総利益	641,231	579,706
販売費及び一般管理費	498,262	453,564
営業利益	142,969	126,142
営業外収益		
受取利息	37	24
受取保証料	2,233	2,030
還付消費税等	911	—
その他	1	327
営業外収益合計	3,183	2,383
営業外費用		
支払利息	3,206	2,874
その他	584	572
営業外費用合計	3,791	3,447
経常利益	142,361	125,078
税金等調整前四半期純利益	142,361	125,078
法人税等	50,534	41,729
四半期純利益	91,826	83,348
親会社株主に帰属する四半期純利益	91,826	83,348

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	91,826	83,348
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	6,893
為替換算調整勘定	△4,638	△3,880
その他の包括利益合計	△4,638	3,013
四半期包括利益	87,187	86,362
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	87,187	86,362

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	HRM事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	918,434	48,377	966,811	—	966,811
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	20,215	20,215	△20,215	—
計	918,434	68,592	987,026	△20,215	966,811
セグメント利益	122,274	20,695	142,969	—	142,969

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	HRM事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	950,146	48,156	998,302	—	998,302
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	30,616	30,616	△30,616	—
計	950,146	78,772	1,028,918	△30,616	998,302
セグメント利益	93,334	32,808	126,142	—	126,142

(注) セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。